

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 7 年 12 月 19 日

設置・運営主体	さいたま市		
設置主体	さいたま市		
経営主体	さいたま市社会福祉事業団		
事業所名 (施設名)	さいたま市杉の子園	種別	児童発達支援（児童発達支援センターを除く）
所在地	〒 338-0012 埼玉県さいたま市中央区大戸2-7-17		
電 話	048-855-2356		
FAX	048-855-2362		
Email	saitamashi_syazi_suginokoen@nifty.com		
URL	https://www.saicity-i.or.jp/facility/s-suginoko/		
施設長氏名	高島寿美子		
調査対応担当者	高島寿美子（所属、職名：さいたま市杉の子園 園長）		
利用定員	30 名	開設年	昭和 54 年 7 月 1 日
理念・基本方針	<p><児童発達支援事業></p> <p>基本理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・保護者の立場で子どもの成長に合った支援を提供していきます。 <p>基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりを大切にされた支援を行います。 ・安全に配慮した環境を提供します。 		
開所時間 (通所施設のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・母子グループ 月・木グループ、火・金グループ…10:00～11:45 ・通園グループ 月・火・木…9:45～13:50 水…9:45～12:00 金…9:45～13:00 ・フォローグループ 水…14:30～16:10 (13:10～個別指導) 		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育） ※児童発達支援事業として入れさせていただきました。

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児					
1歳児					
2歳児	20	10	2		
3歳児	通園20	9	通園2		
4歳児		9			
5歳児	フォロー20	27	フォロー2		
計	30	55	6		

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。※計55名には、個別指導…2歳児1名、4歳児2名、5歳児8名を含む

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合 ※児童発達支援事業として入れさせていただきました。

常勤職員数		7人	
うち	保育士	3人	保健師・看護師 0人
	栄養士・調理員	0人	その他（委託調理員） 0人
非常勤職員数		4人	（常勤換算 2.9人）
うち	保育士	3人	（常勤換算 2.3人）
	保健師・看護師	0人	（常勤換算 0人）
	栄養士・調理員	0人	（常勤換算 0人）
	その他（作業療法士）	1人	（常勤換算 0.6人）
(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 1人	非常勤： 0人
	退職	常勤： 0人	非常勤： 1人
(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		44.1歳	（40.7歳）
(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		13.1年	（6.7年）
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	無	
延長保育	無	
休日保育	無	
障害児保育	無	
一時保育	無	
地域子育て支援センター	無	
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)	無	
アレルギー等対応給食	無	
その他(事業名: 保育所等訪問支援、相談支援)	有	

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 7 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

1 人

・ボランティアの業務

・運動会の手伝い

【実習生の受け入れ】

・令和 7 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 2 人

介護福祉士 0 人

その他 5 人 ※令和 8 年 2 月 2 人受け入れ予定は含まず

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)		466.3 m ² (延べ床面積)
	児童1人あたり	15.54 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積		192 m ²
	児童1人あたり	6.4 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	令和3年	※地盤沈下の修繕

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・年1回、利用者アンケートを実施している。(無記名)
- ・個別の面談時やクラス懇談会にてご意見やご要望を伺っている。
- ・玄関にご意見箱とご意見を記入する用紙が設置されている。

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・通園グループにおいて、個別的・集団的指導を行い、基本的動作の習得や人との関わりの楽しさの中から豊かな日常生活が過ごせるように全体的な発達を促す支援を行っている。また、親子通園を実施し、集団でのお子さんの様子を知っていただき、着替えや着脱等、身の回りのことを家庭と話し合い進めていく為に情報共有をしている。
- ・母子グループにおいては、早期療育の必要なお子さんや子育てに不安を持っている親子に遊びを通し、遊び方や関わり方の指導・支援をしている。
- ・フォローグループでは、幼稚園や保育園に通園している療育の必要なお子さんに対して、小集団での活動を通し、集団に適応する力や発達を促す指導・支援を継続的に行っている。
- ・作業療法士による個別指導では、感覚統合の視点での指導及び手指操作を含めた日常生活動作の自立に向けた指導等を行っている。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数(前回の受審時期)

1

回

(平成

27

年度)

※さいたま市指定管理者第三者評価は令和3年度実施